

会社概要

(2009年8月31日現在)

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子3-25-14 ソーバルビル
資本金	212百万円
事業内容	○エンジニアリング事業 ・ハードウェア・ソフトウェアのエンジニア派遣 ・ハードウェア・ソフトウェアの受託開発 ○その他事業 ・RFID 製品・RFID システムの開発、販売
社員数	969名 ※常勤役員含む。
ホームページ アドレス	http://www.sobal.co.jp/

株式の概況

(2009年8月31日現在)

上場証券取引所	株式会社ジャスダック証券取引所
証券コード	2186
発行可能株式総数	7,400,000 株
発行済株式総数	2,171,900 株
単元株式数	100 株

株式手続き情報

(2009年8月31日現在)

定時株主総会	毎年5月
配当金受領株主 確定日	第2四半期：8月31日 期末：2月末日
上場証券取引所	株式会社ジャスダック証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種照会先	【諸届け】 住所・氏名のご変更、配当金受取り方法のご指定などに関するお問合せ、各種手続きに必要な書類のご請求はお取引の証券会社までご連絡下さい。 【特別口座で管理されている株式】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 ※お問合せ：三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00) 0120-232-711 (東京)
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 【公告掲載 URL】 (http://www.sobal.co.jp/stockholder/)



ソーバル株式会社 中間事業報告書 2009

2009年3月1日 - 2009年8月31日

お問合せ先

ソーバル株式会社 IR担当窓口

〒146-0092 東京都大田区下丸子3-25-14ソーバルビル
TEL:03-5482-1420 (受付時間 平日 9:00～17:00)

IRサイトアドレス：<http://www.sobal.co.jp/ir/>

このパンフレット内の文章、写真等の著作物の全部または一部を弊社の許可なく複製、使用することを一切禁じます。
パンフレットの内容は2009年11月現在のものです。151009PR096-IRC01

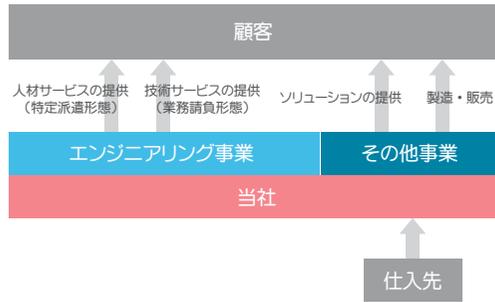
JASDAQ

証券コード 2186

事業概況

当社は、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの開発及び評価に関するサービスを、当社従業員の特定人材派遣及び業務請負により提供するエンジニアリング事業を主な事業として展開しております。

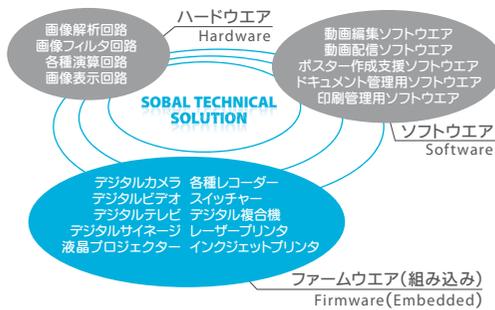
また、その他事業として「RFID」分野に関する製品の製造、販売及びソリューションの提供を行っております。



エンジニアリング事業

主として、デジタル製品メーカーに対し、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの「開発」を支援するサービスを提供しております。同時に、開発中の試作品の不具合や仕様誤りをプログラムレベルで評価・検証したり、生産前の製品の品質評価をする「評価」サービスも併せて提供しております。また、デジタル製品メーカー以外にも、精密機器や電子機器メーカーに対して、同様の技術支援サービスの提供を行っております。ソフトウェアでは、デジタル製品のアプリケーションツールやドライバの開発のみならず、Webアプリケーションの開発にも携わっております。ハードウェアでは、LSI^{※1}やDSP^{※2}の設計・開発、周辺回路設計、さらに構造設計や機構設計の研究・試作・量産設計を開発範囲としております。

併せて、組み込みソフト開発において培われた技術基盤により、製品開発コスト管理支援ソリューション、組み込みシステム設計支援ソリューション、SoC設計支援ソリューション、ソフトウェア製品化支援ソリューション、基板装置試作・量産支援ソリューション等の各種コンサルティングを提供しております。



※1 大規模集積回路。IC (集積回路)のうち、素子の集積度が1000個～10万個程度のもの。

※2 音声や画像などの処理に特化したマイクロプロセッサ。モテムなどの装置に組み込まれたり、パソコンに搭載されてCPUの処理を一部肩代わりしたりする。

その他事業 (RFID事業)

その他事業として現在、「RFID」分野に関する製品の製造、販売及びソリューションの提供を行っております。「RFID」は、電波及び電磁誘導方式を用いた非接触型の自動認識技術であり、物流・在庫管理等の分野において利用されております。

2010年2月期第2四半期までの動向

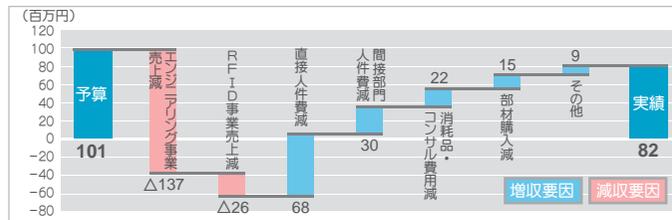
業績ハイライト

科目	2009年2月期中間	2010年2月期第2四半期予算	2010年2月期第2四半期実績	達成率
売上高	3,446	3,176	3,012	94.8%
営業利益	444	100	82	82.0%
経常利益	447	100	85	85.0%
四半期(中間)純利益	248	55	50	90.9%

取引先のR&D抑制による影響があるものの、新規顧客の開拓や新規案件の獲得により、ほぼ予算どおりの売上を達成いたしました。

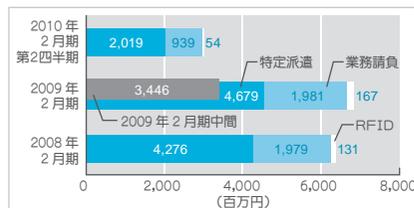
また、売上の減少分を補うべく、コストの削減を徹底し、85百万円の経常利益を確保いたしました。

営業利益の増減分析



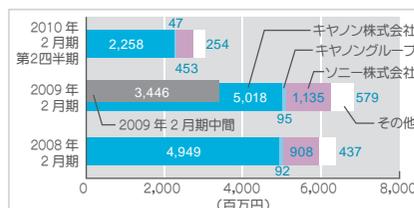
- 当初予算よりも圧縮はしたが、給与・賞与のペースアップを実施
- リストラ、一時帰休、給与賞与カットは一切行っていない
- 内部統制や各種運営に掛るコストを内製化することにより削減
- 間接部門の業務効率化により残業代が減少
- 将来投資をしつつも予算をほぼ達成

セグメント別売上高



派遣契約から請負契約への受注形態のシフトを行いました。請負契約は、社員教育の為に有効な受注形態です。

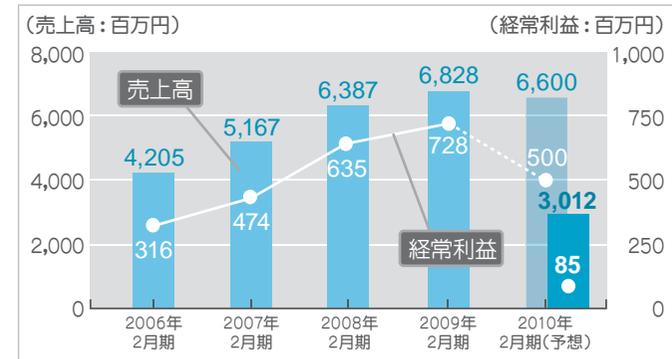
売上高構成比



ソニー様における契約縮小により、相対的にキヤノン様の比率が上昇しております。新規開拓により、その他の割合もキープされております。

2010年2月期第2四半期以降の動向予想

売上高、経常利益の推移予想



引き続き技術者へのニーズは減少しておりますが、底打ちの様相を呈し始めております。ソバルは、営業努力と、エンジニアリング事業とRFID事業の繋がりから生まれる新規顧客開拓により、「揺り戻し」受注・新規顧客開拓・業務の効率化でV字回復を目指して参ります。

配当金の推移



期初の予定通り、10円の中間配当を実施いたします。引き続き配当性向30%を目標といたします。

次年度へ向けての施策



※グラフはイメージです。RFID関連のお取引を除きます。

土壌改良 (リスクヘッジとしての内需系ソフト分野へ進出) と種まき (優秀な人材の先行派遣) を積極的に実施してまいります。創業以来、継続してペースアップを実施しており、安易な「人事政策」を採らず、社員離れ、意識低下を防ぐことこそ肝要と考えております。